



WRO2019ハンガリー国際大会出場報告



愛媛県立八幡浜工業高等学校

チーム名 YTHS WE

コーチ 教員 近藤 靖通

選手 電気技術科3年 大川 佳祐

選手 電気技術科3年 城ノ戸 翼

2019年11月8～10日（金～日）ハンガリーのジェールで開催された
WRO2019ハンガリー国際大会に出場しました。

11月6日(水) 出発

多くの友人や先生方に激励されて本校を出発しました。

11月7日(木) ハンガリー・ジェールへ

真夜中、羽田国際空港からオーストリアのウィーンを経由しハンガリー・ジェールへ向かいます。

フライト約12時間で現地時間の朝6時頃にウィーン国際空港に着きました。ハンガリーの宿泊施設のチェックイン時間に合わせるためにウィーン市内観光をして、午後には国境を越えハンガリー・ジェールのヴィレッジ（大学寮）に16時頃に着きました。



羽田国際空港にて



12時間のフライト



シェンブルン宮殿



宿泊する大学寮

11月8日(金) 試走・組立・開会式

7:00にヴィレッジを出てバスで会場に移動。屋外は2度とかなり寒いですが、会場は暖房と熱気で熱いくらいです。

各国の選手ともに調整に余念がありません。本校選手も調整を開始。滑りの悪いコートに戸惑ったり、強力なLEDライトがコートを照らしているためにセンサーが誤動作をしたりしていましたが、落ち着いて調整し、しばらくすると安定してロボットを走らせることができました。

今年からルールが変わり、午前中にロボットを分解し、午後から90分間で組立と調整を行い、そのままロボットを置いて帰ります。

ヴィレッジ近くの別の会場で開会式が盛大に催されました。また、WROのドキュメンタリー映像「私と私のロボット」が上映されました。



朝はかなり冷えます



会場に集まる代表選手



競技会場は熱気で熱い



入念にコートをチェック



開会式



ドキュメンタリー上映

11月9日(土) 第1日目

いよいよ競技開始です。サプライズルールが発表されました。サプライズルールは、通常動かさないブロックを指定位置まで運ぶというもので、しかも移動させるブロックは2個！さらにうまく運ばなければ減点もあります。減点されるくらいならと、サプライズをあきらめるチームや1個だけを移動させるチームなど様々です。本校チームはもちろん2個とも移動させ満点を狙います。結果、3回の試技のうち最後に満点を出しました。しかも全チーム中最速タイムだったので1日目の競技が終わった時点でトップです!!



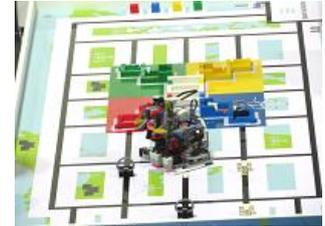
サプライズの発表



各チーム作戦タイム



本校チームはもちろん



満点を狙います



審判によるチェック



僅かにずれて減点



後がなくなった



最後にパーフェクト!

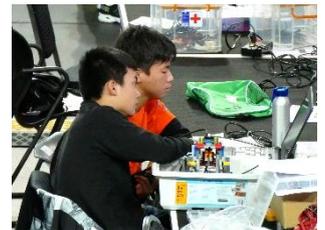
11月10日(日) 第2日目

2日目は今大会から始まる新しい競技スタイルです。3つの新しいミッションが発表されます。ミッションを選んで確実にポイントを稼ぐか、全てをこなして満点を狙うかはチームの作戦次第。3時間の制限で試技は3回までです。本校チームは果敢に満点を狙いに行きます。しかし本校ロボットにとって不利なミッションがあり3時間があっという間に過ぎて、時間内で全てを完成することはできませんでした。

閉会式も盛大に催されました。2日間の総合成績は、1位ロシア、2位ドイツ、3位スイス。本校チームは11位となりました。



新ルール発表



対策を考える選手



試走の順番待ち



やばい! 時間がない



順調だ、行けるか?



途中で止まった...



やっぱり、悔しい



JAPAN 高校生チーム



閉会式



優勝したロシアチーム



次の開催国はカナダ



日本選手団

11月11日(月) 観光

オーストリアのウィーンを観光。芸術と音楽の街、ウィーンには有名な音楽家の墓地や王宮、ハプスブルク家の美術品がたくさんあります。街全体が美術館のようです。市庁舎地下にあるおしゃれなレストランでJAPANチームの皆さんと夕食を取りました。



シュテファン寺院



おしゃれなレストラン

11月12日(火) 帰国

ウィーン国際空港から帰路につきます。約11時間掛かります。機内で一泊し、早朝に羽田国際空港に着きました。日本に帰ってくるとホッとします。羽田空港の国内線に移動して松山空港に向かいます。



日本に向けて



お土産を購入

総括

1日目の競技は従来通り、基本ルールにサプライズルールが追加されます。サプライズルールは、本来は動かさない2個の白いブロックを青色と緑色のエリアに運ぶミッションでした。しかも、上手く運べないと減点があります。そのため、サプライズを行わず基本のルールだけをこなしているチームも多かったです。実際、サプライズをこなして満点だったのは5チームだけでした。本校チームはサプライズに挑戦し1回目、2回目と失敗し後がなくなった最後の3回目で成功させました。タイムも速く暫定1位となりました。

2日目は、今年から新しい競技スタイルとなり、基本のルールは全く関係なく、新たに3つの課題が発表されました。満点を取るためには3つの課題をまとめてクリアしなければなりません。制限時間は3時間で今まで以上に対応力、プログラム作成力、問題解決力が問われます。本校チームは、課題1と課題2を早々に完成させることができましたが課題3に苦戦しました。ロボットの構造上、つかむことができない小さなブロック4個を、それぞれ別の場所に移動させなければならない超難問です。選手はロボットの機構を変更し何とか対応しようと頑張りますが時間が足りません。各国のチームが試走の順番待ちをするので、15分に1回しか試走できないのです。あっという間に時間が経ち、十分な調整ができないままで試技となりました。ロボットは途中まで順調に走ったものの、調整不足の後半で上手く動かず止まってしまいました。

成績は2日間の合計です。1日目はトップでしたが、2日目の得点が伸びず85チーム中11位でした。2日間とも満点を出したのは1チームのみという大変厳しい大会となりました。

上位チームの多くが国や企業、大学がサポートしているワークスチームの中で、プライベートチームの日本は厳しい戦いでした。残念ながら入賞することができませんでしたが、持てる力は出し切ったと思います。

この度、本校電気技術部のWRO2019ハンガリー国際大会出場にあたりましては、御支援御協力を賜わりまして誠にありがとうございました。8時間の時差がありましたが、体調を崩すことも無く、無事大会日程を終えることができました。生徒たちは、世界の大きな舞台でかけがえのない素晴らしい経験をすることができました。本当にありがとうございました。



他国の選手と友達に



国際交流



各国選手のサイン



本校チーム

WRO 2019 大会記録

WRO 2019 ハンガリー国際大会
WRO Japan 2019 決勝大会
WRO Japan 2019 中四国高校予選会

11位
優勝
優勝

(2019年11月8-10日)
(2019年8月25日)
(2019年8月3日)